

# 2023年度徳島大学生物資源産業学部

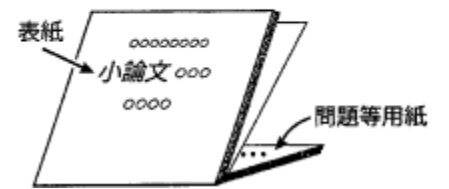
## 学校推薦型選抜 I 入学試験問題

### 小論文

#### (注意事項)

- 1 問題用紙，解答用紙および下書き用紙は，係員の指示があるまで開かないこと。
- 2 この表紙を除いて問題用紙は4枚，解答用紙は3枚，下書き用紙は3枚である。  
用紙の折り方は図のようになっているので注意すること。
- 3 解答は，解答用紙の指定された番号の解答欄に書くこと。指定された解答欄以外に書いたものは採点しない。また，裏面に解答したものも採点しない。
- 4 解答開始後，解答用紙の所定欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 5 下書き用紙を含め，配付した用紙はすべて回収する。

表紙も問題・解答用紙も全て  
表面のみに印刷している。





## 小論文 問題用紙 その2

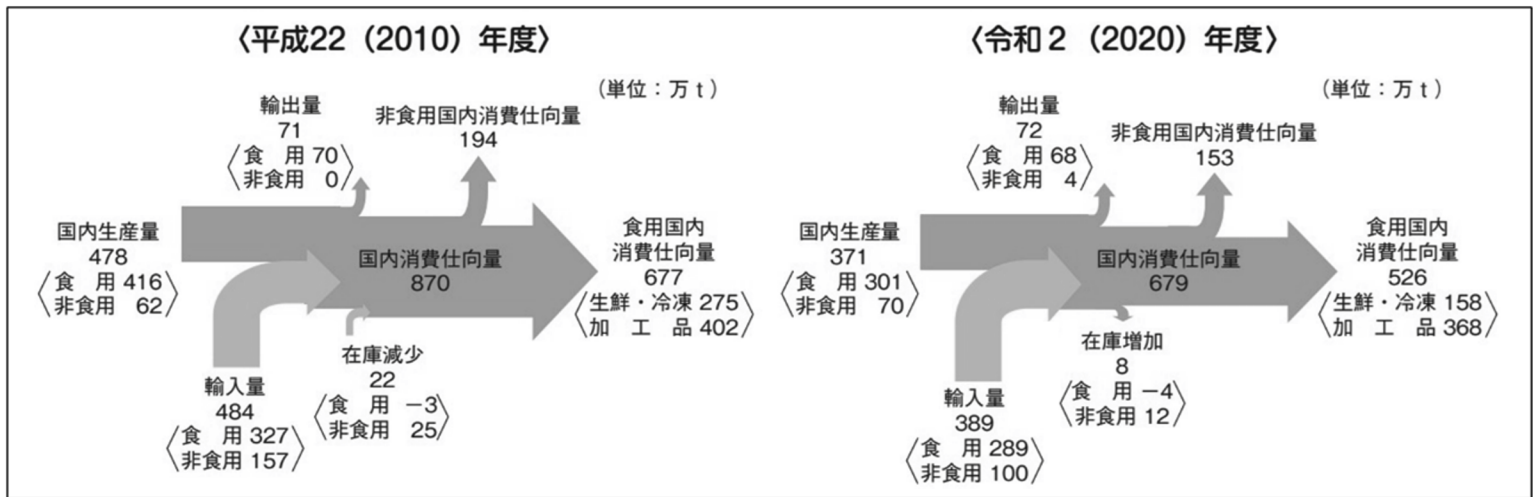
- 問1 地球温暖化対策の手段の一つとして森林の間伐がある。図Aは、およそ50年生のスギ林において、間伐を行った試験区（間伐林）と間伐を行わなかった試験区（無間伐林）におけるバイオマス成長量を比較した結果である。間伐の有無でどのような違いが生じたか、そして間伐がなぜ地球温暖化対策となるのかについて350字以内で説明せよ。
- 問2 図Bは、周囲に森林が広がる関東地方のあるダム流域で観測された雨量と水の流出量の関係を示したグラフである。横軸は一連の降雨による雨量を、縦軸は観測地域において貯留されずにすみやかに流れ出た水の量（流出量）である。このグラフからどのようなことがわかるか、そしてそれが森林のどのような機能と関連しているのかについて300字以内で説明せよ。

その3へ続く

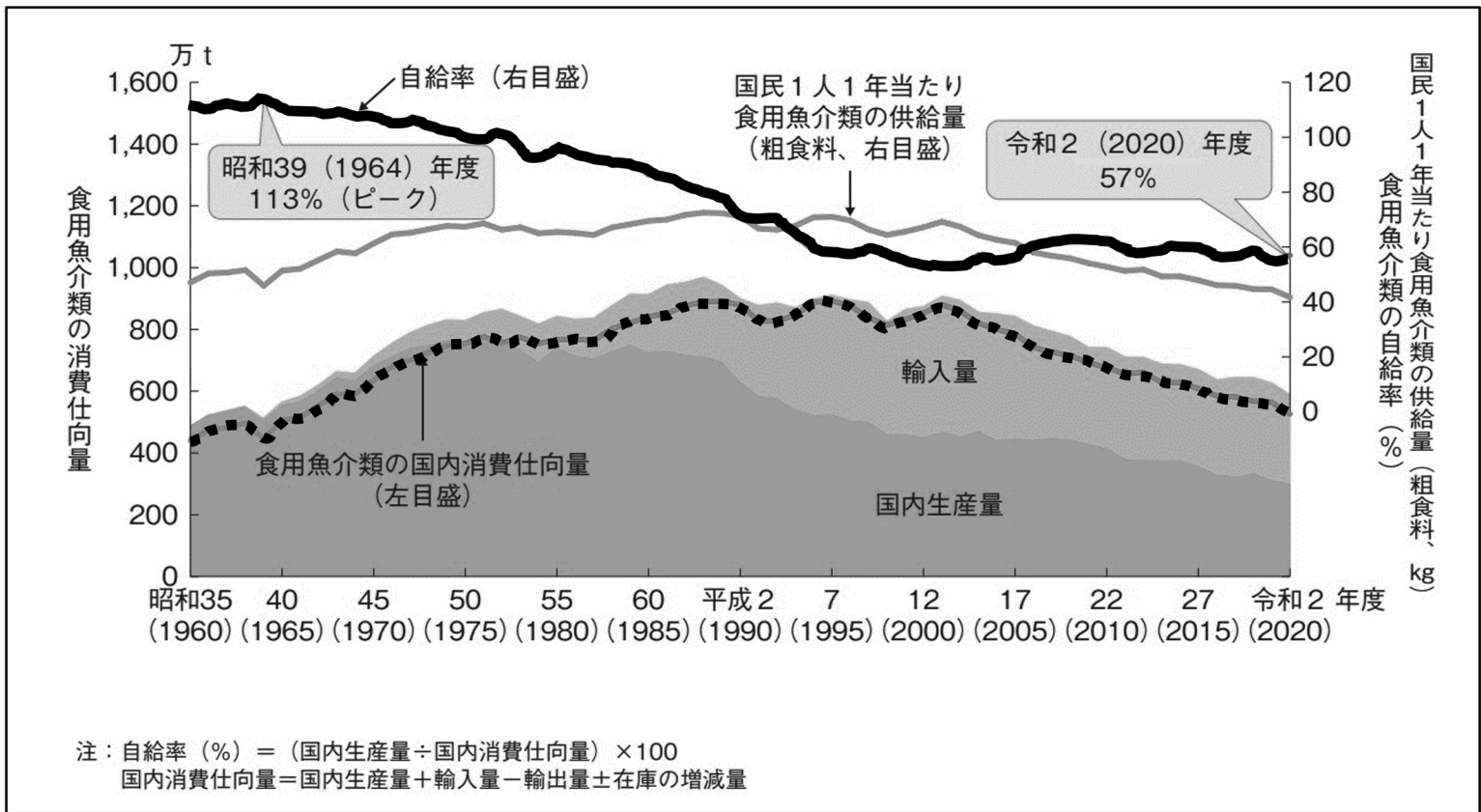
# 小論文 問題用紙 その3

## 第2問

次の2つの図は、農林水産省がまとめた「令和3年度水産白書」に掲載されている図を改変したものである。図Cは我が国における魚介類の生産および消費構造の変化を、図Dは我が国における食用魚介類の自給率推移を示したものである。これらの図から読み解ける事象、動向等について以下の問い(問1~3)に答えよ。



図C 日本の魚介類の生産・消費構造の変化



図D 日本の食用魚介類の自給率の推移

その4へ続く

## 小論文 問題用紙 その4

- 問1 図Cは、平成22(2010)年度と令和2(2020)年度の我が国における魚介類の生産および消費構造の変化を示したものである。令和2(2020)年度の国内消費仕向量のうち、食用消費向け、非食用の割合をそれぞれ求めよ。また平成22(2010)年度と比較して、令和2(2020)年度の国内生産量、輸入量、国内消費仕向量の減少率をパーセントでそれぞれ答えよ。数値は小数点第1位を四捨五入すること。なお、国内消費仕向量とは、国内で消費に回された(国内市場に出回った)食料の量のことである。
- 問2 図Dは、我が国における食用魚介類の自給率の推移を示したものである。平成17(2005)年度以降、自給率は横ばい傾向にあるが、令和2(2020)年度は前年度よりも2%上昇し57%となった。この自給率が上昇した理由について考えられることを100~150字で答えよ。
- 問3 我が国での魚介類の生産量や消費量、食用魚介類の自給率をあげるためにはどのような方策が考えられるか、あなたの考えを200字以内で述べよ。

受験番号	第	番
------	---	---

小論文 解答用紙 その1

第1問

問1

	1	5	10	15	20	25	
1							
							50
4							100
							150
8							200
							250
12							300
							350

小計	点
----	---

受験番号	第	番
------	---	---

小論文 解答用紙 その2

第1問

問2

	1	5	10	15	20	25	
1							
							50
4							100
							150
8							200
							250
12							300

小計	点
----	---

受験番号	第	番
------	---	---

小論文 解答用紙 その3

第2問

問1

食用消費向けの割合	非食用の割合	
国内生産量の減少率	輸入量の減少率	国内消費仕向量の減少率

問2

	1	5	10	15	20	25	
1							50
4							100
							150

問3

	1	5	10	15	20	25	
1							50
4							100
							150
8							200

小計	点
----	---